日傘の女性（ひと）

姫宮藤助

Himemiya Tousuke

青山ライフ出版

日傘の女性（ひと）◎目次

第一章　玄冬……7

トンビの丘　1……8
トンビの丘　2……22
トンビの丘　3……38
トンビの丘　4……58
ダンス・ダンス・ダンス　1……83
ダンス　ダンス　ダンス　2……94
ダンス　ダンス　ダンス　3……103
ラ・ビ・アン・ローズ（La Vie en Rose）1……116
トンビの丘　5……126
ラ・ビ・アン・ローズ（La Vie en ROSE）2……145

トンビの丘　6 …… 164
トンビの丘　6―2 …… 177

第二章　白秋 …… 185

NAOTO　FUJIKURA …… 186
Days of Dance and works 1 …… 192
Days of Dance and works 2 …… 212

第三章　青春 …… 233

Days of Dance and works 3 …… 236
Days of Dance and works 4 …… 251
Days of Dance and works 5 …… 264

第四章　朱夏……291
PARASOL WITH WOMAN……292
Recollection……320
トンビの丘　7……330
Mirror Ball……336
あとがき……344
用語説明……347
参考資料……350
著者プロフィール……352

この物語はフィクションであり登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものと関係ありません。僕自身を例外として。

第一章　玄冬

高校の時のグランド脇の林だったか、はたまた大学の練習場があった、たまぷらーざの寮の周辺であったか定かではないが、カマキリの卵がほぼ同じ所に三つもあった。その時、その当時よりだいぶ身長は縮んだが、かなり高い位置に何故か三つあり、同級生や下級生と妙に興奮した。その事を思い出しググり、その年の積雪量に応じて産み付けられると、そして高すぎると鳥に見つかりやすくなるため、ぎりぎりの高さに産卵すると知り得たが、ググった途端にシラケてしまった。

カマキリのメスは産卵後、数週間から一ヶ月ほどで生涯を終え、その子供の姿を見ぬまま力尽きる。寿命は当然、八ヶ月から一年と、単純で潔い。それに比べ人間は面倒臭く大変だ。枯蟷螂であれたらなあと、自然と同化し美しく光り、燃え尽けたらなあと。

トンビの丘　ー

二〇二四年一月十五日

えーと、京急の乗り換えはこれだよな。

階段に隣接されているエスカレーターもあるが私は迷わず階段を選ぶようにしている。古希を過ぎてからというものの滅法足腰が弱くなってきた為、なるべく歩くよう努力を心掛けているからだ。雑誌や

テレビ番組でも取り上げられている老化防止の三本柱は、バランスのよい食事、適度な運動、質の良い睡眠をとることが基本中の基本で、過度なサプリメントは不用、お金がかかるし定期購入はもうやめた。

健康、健康第一である。足元に気を付けて一段、一段を噛み締めていっちにー、いっちにー。太股、股関節周りを意識していっちにー、いっちにー。背筋も意識していっちにー、いっち、「おい危ない！」

「え、あ、すいません」

「ったくノロノロと」

「失礼しました」「邪魔なんだよ、ったく爺が。」

「すいませんでした……。」

「家にいろ。」

手摺がある端の方へ移動し鼓動を抑え、手を添えゆっくりと上る事にした。いっちにーいっちにー。

何なんだあいつは無礼なヤツ！　こちらが上りで私があっているではないか。何で私が謝らなければいけないんだ頭にくる。近頃はスマホを見ながら歩いていたり、コードレスか何か知らないが会話しながら歩いていて不気味で危ないったらありゃしない。駅員がもっと注意を促してほしいのに最近あまり見かけないし、居たとしても声を掛けづらく躊躇してしまう。それぐらい自分で調べればみたいな風潮があり、さもそれが共通認識であるかの様な態度で迫ってくる。現代社会の弊害でもあり人手不足なのであろうか。つい先日も私ぐらいの男性が洋菓子売場の店舗の前で声を張り上げ、ケーキの宣伝してい

た前を通りかかった。年金が徐々に減らされる時代だから働けるうちは働いておくつもりなのだろうし、もちろんそれを生き甲斐にしている高齢者も大勢いるのも事実ではあるのだが、少子化で労働力は減る一方、その傍でインバウンドが何か知らないが外国人の旅行者ばかりが増えているこの時代。

えーと京急はと、あーこっちこっち。東武線で実家の一ノ割からスカイツリー前押上まで乗り換えなしで一本だけど、ここから三浦海岸までまだまだ道のりは長く遠い。あと二時間位か、まあ小旅行と思えばたまにはいいもんだ、気分転換になる。

コロナがようやっと落ち着いてきてくれたがまだまだ油断できないし、マスクを外せない人も多いだろう。少しずつコロナ前の生活に戻ってくれると思うが、もうこの年で非常事態だけはもう勘弁してくれだ。只、これからは自然災害や世界各地の紛争、そして各地域で横行しているオレオレ詐欺や強盗殺人の方が恐しく心配で仕方がない。まあ、だからこそホームへの入居を決心したのだが、本当に怖い世の中になってしまっている。

一段とこの辺りは混んでるなあ、あースカイツリー直結の入口ね。そうか朝はまだ開店前で人集りもなく気にしなかったのか。

それにしてもよくわからない。東京スカイツリーに直結しているのが東武線と東京メトロ半蔵門線。そしてなんだか都営浅草線と京成線の押上駅からスカイツリーまで徒歩五分となっている。何処から何処までがどちらの鉄道会社か説明するのに難しいが、都営浅草線は京急電鉄と繋っているのは確かのようで、今日の電車の乗り継ぎはパスモがあるからいいものの複雑過ぎてわけがわからん。